

2019年
(平成31年)
2月発行

第17号

宝同協だより

め ぼ 芽 生 え



ハートン

編集発行：宝塚市人権・同和教育協議会

〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号(宝塚市教育委員会事務局 学校教育課内) TEL:0797-77-2040/FAX:0797-71-1891

2018(平成30)年度 人権・同和問題啓発作品入賞者のお知らせ

【ポスターの部】

○最優秀賞(3点)



松下 凜音さん(安倉北小 3年)



濱口 琉加さん(長尾南小 6年)



谷山 鈴華さん(御殿山中 3年)

○優秀賞(5点)

青木 愛樹さん(丸橋小 1年)・吉井 梓さん(丸橋小 3年)・益 菜月さん(宝塚小 6年)
山岡 史奈さん(宝塚第一中 2年)・西村 寿花さん(長尾中 2年)

【標語の部】

○最優秀賞(4点)

加斗 琉莉さん(売布小 3年)
阪上 奈々花さん(長尾南小 6年)
金山 芽恵さん(中山五月台中 2年)
梨本 貴美子さん(市民)

『かわろうよ ゆう気を出して 自分から』
『笑い事 相手にとっては 悩み事』
『気づいてよ 大丈夫じゃない 大丈夫』
『(大人)聞いているの? わかっている?』
(子ども)私の声は聞こえている?』

○優秀賞(8点)

吉田 夏音さん(宝塚第一小 2年)・吉澤 萌花さん(安倉小 3年)・辰田 真子さん(長尾台小 4年)
和崎 綾乃さん(逆瀬台小 6年)・来住 京香さん(御殿山中 2年)・斉藤 光沙さん(宝塚第一中 3年)
伊藤 勲さん(市民)・芝 智恵子さん(市民)

【作文の部】

○最優秀賞(4点)

河村 百華さん(西山小 3年) 『思いやりの気持ち』
中川 陸聡さん(末広小 5年) 『自分らしく生きること』
葛西 さくらさん(山手台中 3年) 『個性と障害』
渡辺 陽さん(雲雀丘学園高 2年) 『明るく短い最短経路』

○優秀賞(6点)

樫山 慈希さん(すみれが丘小 2年)・岩田 丈諒さん(安倉北小 3年)
菊地 愛央さん(中山桜台小 6年)・高橋 陽翔さん(末広小 6年)・西田 琉愛さん(高司中 1年)
藤崎 愛子さん(宝梅中 2年)

※【写真の部】では、最優秀賞・優秀賞の該当はありませんでした。

※最優秀賞・優秀賞受賞者のみを掲載しています。

※佳作を含めた全受賞者は、下記の宝塚市のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.city.takarazuka.hyogo.jp> 【ページID: 1001134】

ホーム > 教育・子ども・人権 > 人権・性的マイノリティ・平和 > 人権 > 宝塚市人権・同和問題啓発入賞作品

光ガ丘中学校3年 木村 つづみさんの『オリンピックとパラリンピックの同時開催を願って』が、法務局主催の第38回全国中学生人権作文コンテスト 兵庫県大会において、奨励賞を受賞されました。



2018(平成30)年度 人権・同和問題啓発作品(作文の部)入賞作品の紹介

【最優秀作文】

思いやりの気持ち

宝塚市立西山小学校 三年

河村 百華

夏休みに入ってすぐに甲子園に行った時のことです。えきで白いつえを持った目の不自由なおじさんが歩いていました。よく見ると黄色い線にぼこぼこしたものがあ

それほ、「」かへくようがいでいめうつ用ブロック「または、「点字ブロック」といって、目の不自由な人が安全に歩くために地面やゆかにつけられたブロックプレートなんです。プレートには「あ」「い」「う」「え」「お」「か」「き」「く」「こ」の文字が書いてあります。ゆめうつ用ブロックは進む方向を表すブロックです。線がならんだ形をしているので「線じようブロック」ともいわれています。けいこくブロックはきけんな場所などのいちを表すブロックです。点がならんでいる形なので「点じようブロック」ともいわれています。かいだん前や横だん歩道前やえきのホームなど、あぶない所につけられています。

この二つは、目の不自由な人にとっていのちにかかわる大切な物だということがわかりました。それなのに、ブロックプレートの上に車や自転車止められたり、物がおかれたりして、つえが引かかたり、ぶつかたりしてけがをする人があると知って、私は少しかなしい気持ちになりました。

ブロックプレートのほかに、町には青い文字を音で知らせたり、文字を点で表す点字など、目の不自由な人がつまらないように作られたものがたくさんあります。私のおばあちゃんは、十年以上点字教室に通っています。今は絵本を点字にするボランティアをしています。子どもたちが「さ」でも多く点字の本を読めたらいいなと思いついて作っているんです。おばあちゃんのおおじさんはすてきだと思つきました。

私は、まだ小さいので何かを作ったり、たすけてあげるのはむずかしいけれど思いやりの気持ちをもちたいと出来た。大人も子どもも思いやりの気持ちを持てば、じこもなくなるし、たすけてあげるとも出来ると思つきます。体の不自由な人も安心して生活が出来るようになればいいと思つきます。

これから思いやりの気持ちをわすれず、大きくなりたいです。(原文のまま)

連載 夢と希望はいつか、

⑮ 魔法の言葉

「存じの方も多いと思いますが、子育てについての講演活動や著書を出されてきたドロシー・ロー・ノルトさんの言葉に「子どもが育つ魔法の言葉」というのがあります。」紹介します。

- けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
 - とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
 - 不安な気持ちで育つと、子どもも不安になる
 - 「かわいそうな子だ」と言われて育つと、子どもは、みじめな気持ちになる
 - 子どもを馬鹿にすると、引込みじめんな子になる
 - 親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
 - 叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
 - 励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
 - 広い心で接すれば、子どもは、キレる子にはならない
 - 誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
 - 愛してあげれば、子どもは、人を愛する心を学ぶ
 - 認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
 - 見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
 - 分かち合つことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
 - 親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
 - 子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
 - やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
 - 守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
 - 和気あいあいとした家庭で育てば、
- 子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

(P)HPA研究所 石井千春 訳

その通りだと思えます。そうしたいです。でも、そんな余裕もなければ、暮らしぶりが豊かでもないこの世の中です。お願いですから、そんな日々が訪れますように『魔法』をかけてください。(和久)

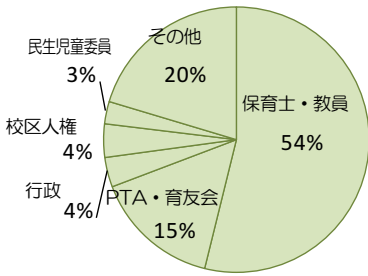
第8回 宝同協研究大会「人権交流学びのつどい」



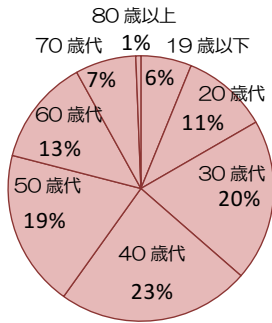
全体会の様子

1月19日（土）に開催された研究大会には、272名の参加がありました。
「ベルリంగాース すずらん」のトーンチャイム演奏に始まり、その後8つの分科会に分かれ、報告者から貴重な実践や体験のお話を聞きました。どの分科会も参加者による熱心な話し合いと交流がおこなわれ、多くの成果を得ることができました。
参加者のアンケート結果と感想を紹介します。 【アンケート回答者：162名】

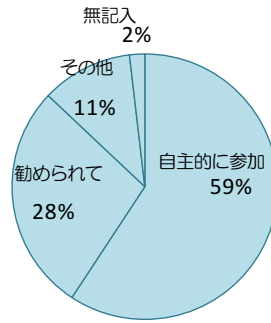
参加者の所属構成は？



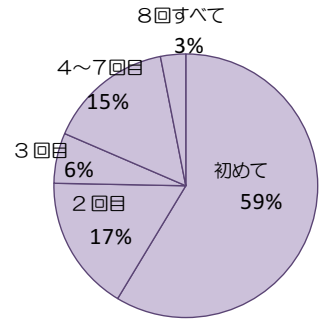
年齢構成は？



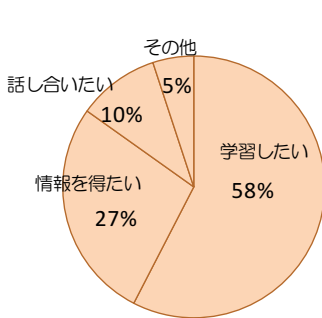
参加については？



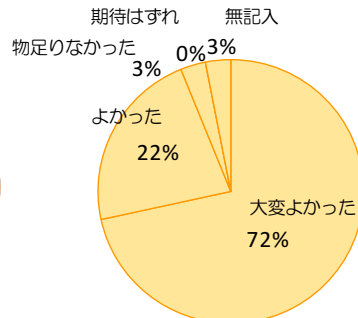
何回目の参加ですか？



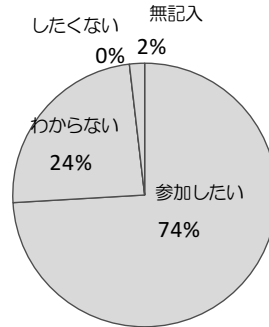
参加の目的は？



分科会の内容は？



来年も参加しますか？



分科会の様子

◆ 分科会別参加者の感想（アンケートから抜粋）◆

①「子どもの人権について考える」より
不登校児童がいるクラスの安心できるクラスづくりについて勉強させていただきました。人によって実態は違うと思うので、子どもたちのありのままを受けとめ、寄り添うことの大切さを学ばせていただきました。（20歳代）

②「部落差別について考える」より
自身の経験を語っていただくことは心に響きます。子どもたちにも聞かせたいと思いました。ライフワークとして人権について考えられる人でありたいと思いました。（50歳代）

③「障がいのある人たちとの共生」より
グループ討議で、社会の中で、共生することについて話題になりました。小さな配慮やその人にとっての便利さを学校や幼稚園から発信する大切さを思いました。（50歳代）

④「在日外国人の人権を考える」より
外国人の方とのコミュニケーションの取り方、見守る地域が必要。日本に住んでいる限り、みんな日本人も外国人も一緒という言葉が心に残りました。（40歳代）

⑤「若者の挑戦と未来」より
発表者の方の素晴らしい人間性に触れることができよかった。友人の方、家族の方、学校の方の参加がセットになっていて、それぞれの立場（当事者）のお話が伺えてよかった。（60歳代）

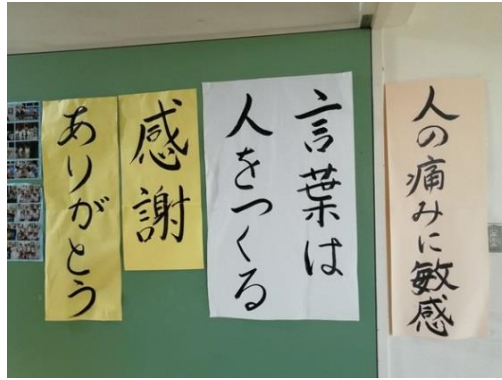
⑥「さまざまな性について考える」より
LGBTや男、女というカテゴリーで人を判断し、接するのではなく、1人の人としてありのままを尊重できるような世界を作りたいなと思いました。（30歳代）

⑦「生徒たちと考える『平和』とは」より
中学生たちと平和について考える。こんな幸せな時間はないと思うと同時に、子どもや孫の世代が平和に暮らせるように、私たち大人も平和について学び行動しなければならないと強く感じました。（70歳代）

⑧「人権教育 現在と未来を考える」より
何を子どもたちと考え、伝え、共有していくのか？教師としてコレだけは！という思いをもって、授業づくりに精を出したいと思いました。（20歳代）

言葉の力

私たちは日頃、何気ない言葉で喜びを感じたり、落ち込んだりします。言葉には、人の想いや気持ちが入められており、言葉は人をつくります。人を蔑む言葉や悪しき言葉は悲しいことに、世間でたくさん出回っています。しかし、私たちは、前向きな気持ちや温かい気持ちになる言葉を発したり、受け取ったりしたいものです。宝塚第一中学校では、校舎の至る所に、校長先生の力強いメッセージや、ふと考えさせられるメッセージが貼ってあり、日々前向きな気持ちになれるのです。



昼休みには、生徒会美化委員や教師が当番制で校内をゴミ拾いしながら回ります。その際の手作りのゴミ集め用の容器にも、生徒会や先生からの言葉があります。想いは言葉になり、言葉は行動になります。

【和田】

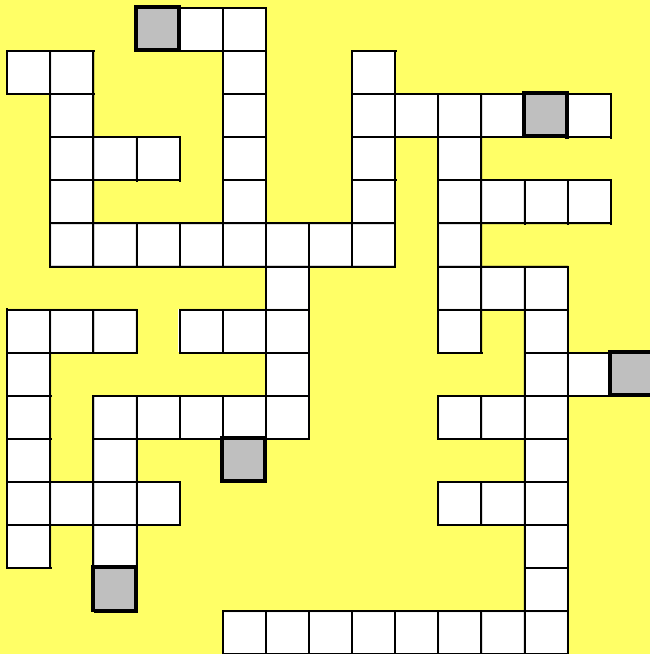


スケルトン
パズル

芽生えパズル

パズルが完成したら□の言葉を組み合わせてみよう。
答えは、もうすぐの人にもいることだよ。

スケルトンパズル たて・よこのマス目に右側の文字をうまくあてはめます。
太いマス目に入った文字を並べ替えて、ある言葉にします。
ヒント：文字数の多い言葉からいれてみましょう！



- | | | |
|-----|---------|------------|
| 2文字 | 4文字 | 6文字 |
| ユメ | シガク | ジブンラシカ |
| イギ | ドリーム | プライバシー |
| | | シュウシヨク |
| 3文字 | 5文字 | ウンドウカイ |
| センス | メッセージ | |
| ナカマ | クルマイス | 8文字 |
| プラン | アドバイス | ジンケンサクブン |
| カイゴ | アリガトウ | オオサカバンパク |
| ルーツ | トシヨカン | |
| カドデ | | 9文字 |
| イワウ | | ゴールデンウィーク |
| ソウジ | パズルの答えは | □□□□□ 【根本】 |

～ 2019年度の主な開催日程 ～

- ◇ 宝同協定期総会
5月17日(金) ソリオホール
- ◇ 阪神同教研究大会
7月27日(土) 川西市
- ◇ 兵人教研究大会
9月29日(日) 豊岡市
- ◇ 全同教研究大会
11月30日(土)～12月1日(日) 三重県津市

☎0564-22-1111

◇ 編集後記 ◇ 平成最後の発行となる「芽生え」17号はいかがでしたか。今号では、人権・同和問題啓発作品の一部と「人権交流学びのつどい」の様子などを紹介しました。これらの記事が「人権」を身近なものと感じていただく手になりなれば幸いです。「芽生え」ではこれからも、人権・同和に関する情報をお届けしてまいります。 【有光】

宝同協だより「芽生え」編集委員

津国 千恵子・有光 剛・横川 忠・池澤 径子
大塚 亜紀・岡田 保恵・中村 弘・根本 雄也
和田 夏子・和久 有彦・平野 聖幸・篠田 充世

